



兵庫県立かこがわ清流特別支援学校だより

発行日 令和8年4月27日(月) 4月号

「兵庫県立かこがわ清流特別支援学校」が開校しました。

4月9日(木)、青く澄みわたる空の下、かこがわ清流特別支援学校の開校式を執り行いました。多くのご来賓の皆様、そして地域の方々に温かく見守っていただき、穏やかで心あたたまる開校式となりました。ご多用のところご参列いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

4月1日には、新たに教職員が着任し、本校は28名の教職員で新たな一歩を踏み出しました。一人一人が、生徒の皆さんの笑顔や成長する姿を思い浮かべながら、開校式に向けて準備を進めてきました。「雨の場合はどうするか」「風が強かったらどうなるか」など、さまざまな場面を想定しながら、当日の天候を何度も確認する教職員の姿も見られました。

開校式では、県立明石高等学校美術科から届いたビデオメッセージを紹介しました。メッセージでは、「校章」を制作してくださった井上さん、「カフェのシンボルマーク」を制作してくださった宮下さん、「胸章」を制作してくださった湖中さんが、それぞれ制作に込めた思いを語ってくださいました。また、校歌披露では、兵庫県教育委員であり、兵庫県を代表するソプラノ歌手の並河寿美さんが独唱してくださいました。澄んだ歌声が今も胸に残っています。ありがとうございました。



皆様にとって、心に残る開校式となっていましたら嬉しいです。いよいよ、ここから学校生活が始まります。生徒一人一人が安心して過ごし、学びや成長を実感できる日々となるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



高等部 第1学年 入学式を行いました。

開校式に続き、高等部第1学年の入学式を行いました。「新生生にとって、高等部の入学式は一生に一度」という思いのもと、休憩時間に舞台上の吊り看板を「入学式」に掛け替えるなど教職員が協力して式の準備を整えました。

新生生は緊張した表情を見せながらも、赤い絨毯の上を一人ひとりしっかりと歩いて入場しました。名前を呼ばれると、元気のよい返事が会場に響き、新たな学校生活への意欲が感じられました。式の最後には、校歌を作曲してくださった音楽ユニット「ヤエモリ」のお二人から、入学を祝う心温まるメッセージが届きました。生徒



の皆さんと一緒に校歌を歌える日を楽しみにして下さっているとのことでした。そして、式のクライマックスとなった校歌斉唱では、県立加古川西高等学校コーラス部の皆さんが、校訓の「笑顔・元気・希望」が伝わるよう心を込めて歌ってくださった校歌が会場に流れました。歌声に合わせて体を揺らしながら聴いたり、モニターに映し出された歌詞を見ながら口ずさんだりする姿が見られ、新生生をはじめ会場の皆さんが同じ気持ちでその場、その時間を共有する、心温まるひとときとなりました。

高等部 第2・第3学年 始業式を行いました。

開校式の前日(4月8日)ではありましたが、高等部第2学年・第3学年の生徒が、新しい学校での初登校日を迎えました。スクールバスや路線バスを利用して登校し、初めて教室に入りました。

その後、3階多目的室にて始業式を行いました。始業式では、新しい学年の始まりを迎える生徒たちに向けて、「ヤエモリ」のお二人から、「進級おめでとう」のメッセージが届けられました。そして、温かいメロディと歌声で新学期がスタートしました。この日は午前中で下校となりましたが、新しい先生や友達と過ごす時間を持つことができ、新たな学校生活への期待が高まる一日となりました。

素敵な演台をありがとうございました。



3月31日(火)の午後、小雨の降る中にもかかわらず、県立東播工業高等学校の生徒3名と先生方が、本校の演台を搬入してくださいました。昨年秋、演台に校章をあしらいたいと相談したところ、建築科の皆さんが校章プレートの製作を引き受けてくださいました。素材や大きさ、校章の色合いに至るまで、試行錯誤を重ねながら丁寧に仕上げてくださいったそうです。完成した校章プレートは、演台にしっかりと取り付けた状態で搬入され、その確かな技術と心のこもった仕事ぶりが伝わってきました。このような温かなご協力に、心より感謝申し上げます。



校舎内の様子と学校生活の一コマ

開校式から2週間が過ぎ、子どもたちも少しずつ学校生活に慣れてきました。校内には元気な声や笑い声が響くようになり、日々の表情からも安心して過ごしている様子がうかがえます。朝の運動や給食も始まり、新しい学校での生活が、少しずつ形になってきました。



4月8日、始業式の朝、スクールバスの初出動!



校旗ができました。校章の金糸銀糸刺繍も素敵です。



22日の給食メニューは、ビビンバ井とわかめスープでした。



エントランスホールに校章デザイン応募作品31点を展示しています。どの作品もすばらしいです。皆さんの制作時の思いも伝わり、とてもうれしいです。



演台に設置された校章プレートです。立体的に仕上げてくださいました。



「ゆめと希望」の種

昨年、平之荘神社を訪れたのは、新緑がまぶしい季節でした。今年は、神社前に咲く桜の花を見ることができ、うれしい気持ちでいっぱいです。

3月末に行った学校見学会では、地域の方々にもお越しいただき、ご自身が平荘小学校に通っておられた頃のお話や、お子さんやお孫さんが通っておられた当時のお話を伺うことができました。「小学校が二階建てになったときはうれしかった」という言葉から、この地域とともに歩んできた学校の長い歴史を感じました。

さて、先週のことです。「この学校、楽しい」と笑顔で話してくれる生徒や、初めて路線バスで通学し、「うれしすぎて!」と校舎に駆け込んでくる生徒の姿が見られました。こうした今の子どもたちの生き生きとした様子に触れ、これからの日々が一層楽しみになってきました。



※ 次号は、5月下旬頃を予定しています。(兵庫県立かこがわ清流特別支援学校 HP をご覧ください)